

## 2009年度 中内学園方針

### ■方針の基本的な考え方

最近の大学を取り巻く環境は、全入時代の到来による志願者の減少・入学者の確保のみならず、景気の悪化による就職問題(就職率の低下)など、様々な難局に直面している。

一方では、社会から大学に対する要望が多様化、高度化していることも事実である。

こういった時代に本学が勝ち残るためには、将来計画である RYUKA プラン 21 に基づき、進むべき方向性を明確にした上で、本学が保有する資産(人・モノ・金・ネットワーク)を最大限に活用し、目標達成のために積極的に取り組み、その将来計画の完遂に努める必要がある。

### 【重点項目】

#### 1. 建学の理念をベースとした教育体制・人材育成(ネアカ のびのび へこたれず)の再構築

オンリーワン施策として、

- ・流通、マーケティングを軸とした教育の確立
- ・アジアに強い RYUKA を目指す

#### 2. For the students の実践(「面倒見の良い大学」「楽しく充実した学生生活がおくれる大学」を目指す)

- ・施設設備の充実、課外活動の強化などを行い、文武両道を目指す
- ・教職員一同、「For the students」を前提に、
  - 《教員》将来社会で通用するようにマナーや教学面で厳しく指導する
  - 《職員》学生の立場に立って親切に対応することの徹底

#### 3. 財務構造の磐石化

- ・健全性を維持する(3 大経費である人件費・教育研究経費・管理経費の帰属収入に占める割合を 50 : 30 : 10 以内の運用の徹底)
- ・教学に関して重点傾斜すると同時に、教育・研究経費の総費用の配分の見直しを検討

以 上